

「情報公開文書」

歯学研究科 HP 掲載

受付番号： 2016-3-8

課題名：

顎変形症患者における 3D スキャナーを用いた術前・術後の硬組織・軟組織形態についての後ろ向き調査に関する疫学研究

1. 研究の対象

2012 年 4 月から 2016 年 6 月に当院で顎変形症治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

顎変形症患者における術前・術後の CT 画像、3D スキャンデータ及び頭部規格 X 線写真（セファロ写真）から術前に術後の軟組織形態を予測することを可能にすることを目的とする。2012 年 4 月から 2016 年 6 月まで東北大学病院歯科顎口腔外科において顎矯正手術を施行された症例を、Skeletal 分類、Body Mass Index (BMI)、顔面非対称の有無で分類し、術前・術後の CT 画像、3D スキャンデータ及びセファロ写真を用いて群間差や検査間の差を比較する後ろ向き研究とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、カルテ番号 等

試料：CT 画像、写真、三次元画像、計測値 等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局(東北大学歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野)

Tel:022-717-8350, Fax: 022-717-8359、担当；山内健介、山口佳宏

山口 佳宏

研究責任者：

東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野 山内 健介

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合